

筑波大学

関東リーグ戦5連覇を果たし、インカレ第3シードを勝ち取った筑波大学。

日本代表を数多く有する筑波大学をまとめあげるのはキャプテン有明 葵衣。常にプレイでみんなを引っ張り、チームが苦しい時にシュートを決め、流れを掴みチームに勢いを与えチームを勝利へ何度も導いた。彼女なしではリーグ戦5連覇は成し得なかったであろう。

関東リーグ戦で最優秀選手賞に輝き、得意のドライブからのジャンプシュートを量産し、チームに勢いを与え続けた伊藤 奈月。彼女がバスケットを始めたきっかけを聞いて驚いた...「人数合わせで出た試合でルールが全く分からずボールを持って走り出したらみんなに笑われたのが悔しくて...始めました」と語る伊藤。この頃から、今の負けず嫌いな彼女の性格を作り上げていたのかもしれない。

筑波の頼れるエース大鷹 さおり。得意の鋭いドライブからの見事なアシスト。その華麗なパスは多くの観客を魅了したに違いない。必然的に彼女は、関東リーグ戦でも見事にアシスト王に輝いた。インカレを1年間の集大成でもあり、チームの夢を叶える最高の舞台です。と語っている大鷹。チームの夢.....それはやはりインカレ優勝であろう。

常にコートの上でもベンチでも声を出し続け、チームを活気付ける中川 明子。安定したプレイをし、強気なDFでチームに大きく貢献している。全国各地にある数々の強豪校の中から筑波大学を選んだ理由はチームの雰囲気と一目惚れしたからとのこと。しかし、今の筑波大学のチームの雰囲気を作り上げているのは彼女自身であることは間違いない。

筑波の大黒柱、服部 直子。1年生の時から強豪校 筑波大学のスタメンとして活躍し続ける服部は、リーグ戦を振り返りもっと安定したプレイヤーになることが課題と語った。ライバルとする選手はセンタープレイヤー全員と語る姿には、彼女の意識の高さがのぞかれる。全国各地の強豪校の多くのセンタープレイヤーとの対決がじつに楽しみだ。

優勝候補と言われ続けるが、近年インカレ優勝が遠い筑波大学。2007年大会では、優勝した大阪体育大学に準決勝で惜しくも敗れ、第3位。2006年大会でも準決勝で桜花学園大学に敗れ第3位に終わるという結果である。今年こそ悲願の全国制覇はなるのであろうか...。彼女たちの挑戦が今...始まる!!



伊藤 奈月
(4年)

大鷹 さおり (3年)



奥村 麻耶
(4年)



服部 直子
(2年)

有明 葵衣 (4年)



中川 明子 (3年)